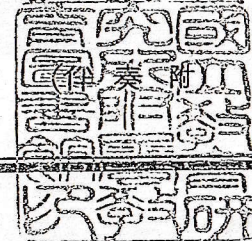


唱歌教科書



獵夫の歌

(原作曲者名)

Allegretto

ワケユクヤマリチヨサルイハネマの
 こいずメのいリヌよヤカクウタヘマの
 ツノコトキアシノハコヒラ
 ズミはたにニノサキメモルン
 ラララララララララララララララ
 カキルコズエニノトリハウツ
 ズルハいなニカクハウツ
 ニハナニカ

冬のあした

(原作曲者名)

Moderato

シトネフハナ
 こにはにおり
 レアードヲクレバオクシモマシロニユキカトミセ
 たちあたりをゆけばこほりのみツぶねかがみごみせ
 テココロモキヨシヤフユノアシタハケガレシコニ
 こころもよしやふゆのあしたはわたせるかけ
 ハモフラヤノヤネモミルカヲキヨケクオンホヒナシテ
 ひにやぶれしのにまたまのすだれをよそほひたれて

◎秋景色

犬童 珠 添

一、吹く風も心地よく 小田の種波立たせ
村人の喜びを 雀近く踊り

鳥遠く歌ふ。

二、山々は紅葉して 綾や錦織れば
山柿も色づきて 眞玉峯に晒し

黄金谷にかざる。

三、茸狩りて歸るさの 人の群れの歌か
一叢の茂りたる森を越えて しらべいとも妙に
うれしく 秋のながめ うれしや。

◎我住む里

犬童 珠 添

一、我住む里に 春たちぬれば

百草千草花咲き亂れ

かすめるみ空に 小鳥もうたふ

うき世に遠き山里嬉し。

二、我住む里に 秋立ちぬれば

葉末の露に蟲啼き交し

澄みゆく月かげ心を洗ふ

うき事知らぬ山里嬉し

◎里の秋

八波 明 吉

秋風 さらさらさら

門田の稲葉を吹く

鳴るよ 鳴子が けたたましく

案山子も 驚き顔。

◎村の祭

一、黄金の種波森によせて

浮き立つ村の祭日

里にひびく笛や太鼓

ぞめきぞめく賑ひ。

二、どどろく太鼓浦曲わたり

ふきなす笛のゆかしや

けふの祭うたへ祝へ

こがねみのるよき日を。

三、野山にごよむ宮の相撲

花火の音もいさまし

けふの祭うたへ祝へ

こがねみのるよき日を。

◎歳暮

犬童 珠 添

一、あはれことも夢さくらし

をしむ日数と早やもなりぬ。

二、過ぎしひと年かへり見れば

成し、事ごとあともなくて。

三、朽ちし軒ばに風すさび

老いの頭に雪ぞつもる。

◎獵夫の歌

犬童 珠 添

一、分け行く山路 攀づる岩根

猿のごとき足の運び

ララ.....

高き梢に鳥は歌ふ。

二、梢の鳥よ安く歌へ

望むは谷に住める獸類

ララ.....

勇める犬の叫び聞ゆ。

三、勇める犬よ高く叫べ

手に執る銃の先きもふるふ

ララ.....

出づるは何か来るは何か。

◎明け行く空

犬童 珠 添

一、明け行く東のみ空をそめて

今しも昇れる旭を仰げ

照る日の光りを其の身に浴びてぞ

此世の萬物生きてし榮ゆ。

二、眩ゆきみ光り天地そめて

今しものぼれる旭を仰げ

照る日の恵を其の身に浴びてぞ

此世の萬物生きてし榮ゆ。

◎若き日

犬童 珠 添

一、花を見れば思ふ 過ぎし若き其日

月を見れば思ふ 睦びし昔の友

色香はかへせず その花咲けども

光りは變らず 月かげ澄めども。

二、遊びなれし小山 心ある汝も

共に浴びし小川 忍ぶか汝も昔

かの岡その谷 ながめは變らず

かの橋此の森 姿はそのまゝ。

◎雪の夜

犬童 珠 添

兩戸をたたく吹雪の音

燈火中に圍爐裏圍む

父は語る昔話 子等は聞けり耳を立て、

冬を知らぬ家の内に 昔語りの花を咲く。

門に近かくものひびき

松の枝や折れつらん

屋根の雪や落ちつらん。

ふしぎに入りし子等はねむり

あたり静かに夜はふけぬ

松吹く嵐 今はやみて

窓うつ風の音も絶えぬ。

◎友を送る

八波 明 吉

一、行くか 友よ 汝ひとり

我等を置いて 遙けき旅へ

行くか 友よ 汝ひとり

汝が行く先に 幸こそ待てれ

二、行けや 友よ いざさらば

行けや 友よ いざさらば

◎冬のあした

犬童 珠 添

一、しとねを離れて兩戸を纏れば

かく霜眞白に雪かき見せて
心も清爽しや冬の朝は
汚れし小庭も葦屋の屋根も

見るから清けく化粧なして。

二、小庭におりたちあたりを行けば

氷の水船鏡と見せて

心も清爽しや冬の朝は

直せる鏡に破れし軒に

眞玉の簾をよそほひ懸けて。

○卒業の友を送る 犬童 珠 澁

一、雪のあしたも風の夜も

つとめはげみて今やこゝに

いとも光榮ある綾錦

かざる其の君祝へ祝へ。

二、長き月日を此の庭に

晴びなれにし友よ〜

よしや千里を隔つとも

心ばかりは變らざらん。

三、花の朝に月の夜に

心しづけき折もあらば

君よ此方をかへり見

思ひ遙かに運び給まへ。

外國々歌の解説

○英國國歌 (ゴッド、セイブ、キング)

一七三九年のセントヘロ節慶祝の爲に作曲者の Henry Carey (一六五八—一七四三) は其翌年、彼自らこれを歌つた。歌詞は皇帝の幸と光榮と國家の安泰とを神に祈る意味のものである。

○米國國歌 (ヘール、コロンビア)

米國にはいろいろの國歌がある。其内古くから有名であつて、其第一國歌と稱せらるべきものにサンキ、ドワードル (Yankee Doodle) がある。ヘール、コロンビアは其第二國歌である。本曲は一七九八年の國民大會の席上に於て發表せられ、大統領ワシントンの就任式に演奏せられてから國歌として全土に普及するにいたつた。歌詞は、聖米利加合衆國建設の精神を述べたもので、自由獨立愛國平和一致團結等の辭句によつて満たされて居る。作歌者は Joseph L. Lockman 樂曲は某獨人の作曲「大統領行進曲」の一部分をとつたのであると云ふ。

○佛國國歌 (マルセイユ)

本曲は一七九二年、ルイ十六世が埃大尉に對して宣稱布告の際、佛國國民の愛國的思想を喚起せしむべく工兵隊附の一青年士官マルセイユ、マルセイユによつて詩曲共に作製せられた。本曲は極めて勇壯に且極めて悲壯であつて、國歌中特に異彩を放つて居る。歌詞は「雄へや稱國の子、光榮の日は来るにはじまり。各章毎に雄へや國民、進め、進め、外敵は今や我田を屠らんとす」の一節が反覆せらるゝあたりは、特に痛快である。因に本國歌は當時マルセイユを起點として、すまじい勢で全土にひろまつたがために、俗に「マルセイユ」と稱せられて居る。

○獨逸國歌

(デイー、ヴァハト、アム、ライン) 「ラインの守り」本曲は獨逸の「マルセイユ」とも呼ばれて居る。Markus Mecklenberg と云ふ若者の作詩に、一八五四年、Karl Wilhelm と云ふ一青年の作曲したのがはじまりで、之がやがて獨逸の國歌となり、皇帝はワイッヘルムに、年金を下賜せられた。

歌詞は第一章の「雄く軍勢、波濤、鐘聲の音、ラインの守りは雄ぞや」にはじまり「愛する祖國は安し、勇士はラインを固む、勇士、ライン河を固む」の一節が各章毎に反覆せられて隨つて勇壯である。(因にライン河は獨逸の國境を定むる唯一の要害である)

○奧國國歌

(ゴット、ミルハルテ、フランツ、デン、カイゼル) 本曲は其作曲者たるハイドンの名によつて既に有名である。彼は英國國歌を聞き、之に感動して、Ludwig Kossuth 「Landsknecht」の作詩によつて、自由の爲に筆を執つた。歌詞は「皇帝フランツ」光榮と賛美とを讃へ稱つたもので、これも各章毎に「雄よ我れは皇帝フランツな。我が善き皇帝フランツを」の一節が反覆せられて居る。因に本曲のメロデーは國歌を超越して、一種の麗しき天籟の妙音として有名である。

昭和三年四月十日 印刷
昭和三年四月十三日 發行

定價金壹圓參拾錢

不許
複製

編纂者

若狹萬次郎

發行兼
印刷者

東京市小石川區八千代町四十二番地
若狹萬次郎

東京市小石川區八千代町四十二番地

發行所

交響社出版部